

日本胎盤臨床医学会

研究要覧

第14号(2014年)

〔第15回医学会大会 講演要旨集〕

〔招待講演〕 見た目のアンチエイジング——美しく歳を重ねる

北里大学名誉教授・NPO法人アンチエイジングネットワーク 理事長 塩谷 信幸 —11—

〔特別講演〕 ロシアにおけるプラセンタ療法

更年期症状に対する胎盤製剤「メルスモン」の二重盲検試験研究 (中間報告)

家族の健康/人間の生殖問題学術センター 研究員・医学修士 インナ・コヴァレンコ —27—

臓器由来の製剤および胎盤製剤の臨床への使用経験

Head of "Best Clinic"・医学博士・神経科医 グルバハル・バグィエヴァ —34—

〔研究発表1〕 メルスモンの更年期障害に対する臨床調査 (中間報告)

メルスモン製薬株式会社 顧問 落合 調 —44—

〔研究発表2〕 内科医のプラセンタ療法

ますなが医院 院長 増永 莊平 —53—

〔研究発表3〕 YNSAとプラセンタ療法

ホロス光武クリニック 院長 光武 和彦 —65—

〔研究発表4〕 免疫とプラセンタ

スノーデン株式会社 執行役員 大石 真巳 —82—

〔JSCPM Archives〕

恩師稗田憲太郎教授の教えと私の胎盤療法施行上の留意事項

福岡・柿添皮膚科・外科 柿添 建二 —96—

胎盤の主要成分と作用機序

東京・株式会社日本生物製剤 郭 太乙 —101—

紫河車——胎盤療法

メルスモン製薬株式会社 山口 由紀子 —111—

〔巻末資料〕 日本胎盤臨床研究会の入会申込書、申請書、および知的財産権利用許諾契約書 —119—

一般財団法人

監修：日本胎盤臨床医学会